

好業
友事
靈善
慰親

旧満州、旧ソ連を実施

亡き父への思いを語る

日本遺族会主催の平成二十九年「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」が始まりました。八月一日からの旧満州を皮切りに、来年三月の中国までの間に延べ十九回実施する予定で、各戦域を訪れ亡き父等の戦没地を巡り慰霊追悼を行うとともに、各地で小学校や病院等を訪問し、現地の方々と友好親善を深めていく。

旧満州

日中友好訪問団(総括団長・柴田義経愛知県遺族連合会会長、全国の遺族連合会代表)は八月一日、東京・靖国神社内の靖国会館で結団式を行い、翌二日、羽田を出発し北京に向かった。



環境保全の植林活動を行う団員ら
= 8月8日、瀋陽市郊外の演武風情村で

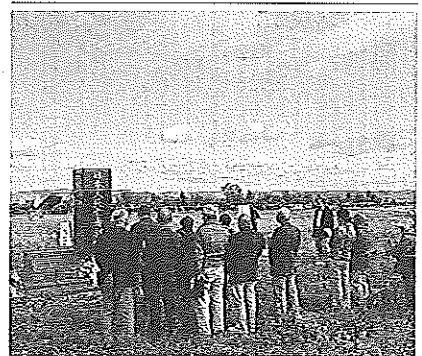
到着後、二班に分かれA班はハイラル、ハルビン、長春、瀋陽方面へ、B班は黒河、牡丹江、延吉、長春、瀋陽等、広大な地域をバスや航空機を利用してするなどして、亡き父が見たであろう山河、最終地と思われる街並みや旧収容所跡地、病院等、緑の地を訪れ、それぞれ選擇した。

また、慰霊祭はホテルの一室で行い、故郷から持参した思い出の品々や家族の写真を飾り、亡き父への思いを涙ながらに語りかけるとともに、

同日域で散華された多くの霊の哀情を折った。社会奉仕としてA班は、瀋陽市郊外の瀋陽風情村にて槐樹を植林し、B班は中国と北朝鮮との国境付近の閔門市郊外(豆腐河の対岸は北朝鮮)で、松の苗木を一人一人丁寧に植林し、訪問団のもう一つの目的である環境整備活動に努めた。

一団合流後の九日夜には、在瀋陽日本国総領事館代表、瀋陽市人民代表と大会委員の幹部らを招いて、懇談会を開催し現地の関係者と意見交換を図る。また、慰霊祭はホテルの一室で行い、故郷から持参した思い出の品々や家族の写真を飾り、亡き父への思いを涙ながらに語りかけるとともに、

旧ソ連から副柱を奉持 抑留中死亡者遺骨収集団



日本人死亡者慰霊碑前で個人慰霊祭
= 8月25日、チタ州で

日本戦没者遺骨収集推進協会は、旧ソ連抑留中死亡者遺骨収集派遣を七月十四日から八月九日の期間で実施した。本会からは、ハバロフスク地方第一、次に二人、クラスノヤルスク地方に四人、ザバイカル地方に二人が参加協力した。

ハバロフスク地方第二遣骨収集団は、ソールネチヌイ地区コリン村の第四九二三野病院に居住地墓地及び第一遣骨所第四九二三野野墓地で遺骨収集に従事し、三十五柱の遺骨を収容した。クラスノヤルスク地方遣骨収集団は、セーベロ

遺児の参加者募集

慰霊友好親善事業

募集要項については次のとおり。
▼時期及び地域 実施概要参照。
▼参加費 10万円
※東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行うため、集合場所まで及び解散場所からの交通機関はご自身の手配と。また、移動に係る国内交通費及び帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。
▼参加資格 戦没者の遺児。二十八年度参加者を除き、複数回の応募が出来る。
▼申込方法 在任する各都道府県遺族会事務局へ。
参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要する。事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入

実施概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 ミャンマー (1次)	平成29年 12月12日~12月21日	60人	10月17日
2 台湾・パシフィック	平成30年 2月1日~2月7日	20人	12月1日
3 東部ニューギニア (2次)	平成30年 2月7日~2月14日	42人	12月7日
4 ミャンマー (2次)	平成30年 2月26日~3月7日	60人	12月22日
5 フィリピン (2次)	平成30年 3月13日~3月20日	120人	1月12日
6 中国	平成30年 3月22日~3月30日	80人	1月22日

(特定地域)

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 西部ニューギニア	平成30年 1月18日~1月27日	36人	11月17日
2 ビスマルク諸島	平成30年 2月7日~2月14日	36人	12月7日
3 マーシャル・ギルバート諸島	平成30年 3月10日~3月18日	36人	11月10日

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願している本会への賛助金につきましては、ご賛助いただきました左記の方々に、お礼申し上げます。
なお、大衆協賛ではございますが都道府県名については、送金方法により居住地域が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。
賛助者名(敬称略) カタナ名は銀行振込漢字名は現金書留等) 読田篤和、愛知遺族連合会、迫田清美、山下一夫、桑野隆子、福井春枝、辻本大誠、中村利雄、佐々木初美、柳岡勇、内治、表谷登雄、石田昭重、石川、谷崎隆子、吉崎龍平、鳴瀬貴賢、岡田俊一、佐々木久光、山本剛司、原寛亮、佐藤信、中北智恵、稲垣英、石垣



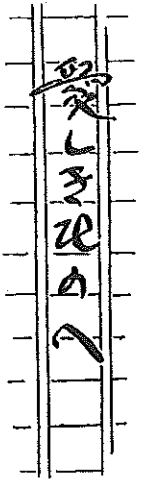
各派遣団から厚生労働省へ遺骨が引き渡される
= 8月9日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で

日本遺族会への賛助金のお礼
日本遺族会では、戦没者の安霊慰霊や遠隔地慰霊、慰霊友好親善事業、遺骨収集推進等各種事業の活動のために賛助金を募っております。本会の活動の趣旨にご理解を賜り何卒ご賛助いただきますようお願い申し上げます。
●郵送振付
00102694980
●みずほ銀行 九段支店
00102694980
●口座番号 一野田組(日本遺族会) 二ホソウクワ

共同記者会見を開催 本会とOBONソサエティ

日本遺族会は八月十三日、千代田区の千代田会館で戦没者の遺品の返還活動が続ける米国の非営利団体「OBONソサエティ」との共同記者会見を開催した。会見には、水落敬栄本会会長、OBONソサエティ代表のレックス・ジーク、敬子夫妻、また、遺族へ日章旗を返還するために来日した元海兵隊員のマービン・ストロンボさんが出席した。

日本遺族会は、戦没者「寄せ書きの丸」をはじめ多くの遺品が遺族の活動を通じてOBONソサエティに協力しておられ、これまでも各支部遺族会を通じて遺品の持ち主を探し出し、返還活動を進めてきた。今回の共同記者会見は、水落会長は「戦没者遺族にとって、



涙かくした母に応へむ

陸軍技手 安藤 武夫

昭和二十年七月七日
フィリピンルソン島カバヤン地区にて戦病死
愛知県北設楽郡稲武町出身 四十歳

無理なのが昔から戦である。

我が子はこの無理を

天皇陛下の為に勇ましく引き受けて征く。

母をして日本の母にしたと思つて征く。

強く生きて下さい。

母上の安座は俺が作つて置く。

先立つ不孝者 安藤武夫

征く日に書く

子は征きて還らぬものと知りながら
涙かくした母に応へむ

母上様

(原文のまま)
「平成二十九年九月靖国神社頭門前」
愛しき母へ



共同記者会見を行う水落会長(左)とマービン氏(右) = 8月13日、千代田会館で

戦争の記憶は色あせることとはありません。愛しい肉親を失った辛い苦しい心の傷は癒えることはありません」と述べ、二度にわたって日章旗を返還するために来日したマービン氏は「戦没者遺族にとつて、

マリアナ諸島慰霊巡拝 関係遺族の参加者募集

日本遺族会では、マリアナ諸島戦跡慰霊巡拝の参加者を募集している。

募集要項は次のとおり。

▼実施時期 平成二十九年十一月二十七日(月)から十二月一日(金)の四泊五日で予定。

▼実施地域 グアム島、サイパン島、テナリアン島等を予定。

▼参加資格 マリアナ諸島及び周辺海域で肉親を亡くされた戦没者の関係遺族(妻、遺児、孫、ひ孫、兄弟、姉妹、甥、姪、配偶者等)

▼申込締切 九月二十一日(金)

▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼参加費用 30万円前後

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼申込締切 九月二十一日(金)

▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼参加費用 30万円前後

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

福島県で日章旗返還 OBONソサエティ

OBONソサエティから本会に依頼があった高野正一氏の日章旗について福島県遺族会へ遺族の捜索を依頼していたところ、いわき市遺族会や田人町遺族会の協力を得て、甥の高野学さんがいわき市内に在住していることが判明した。

フィリピン・ルソン島クラークで戦死した高野氏の日章旗は、インディアン州在住のロニー・ニコルソンさんの父親(元米兵)が戦地から持ち帰ったもので、ロニーさんは父親が亡くなる前に、旗を遺族のもとへ返した。

「約束した」と語り、八月十五日の岐阜県白川村での返還式で遺族に直接思いを伝えたいと述べた。会見の最後には、今回OBONソサエティが持参した遺品は五十七件となった。

「約束した」と語り、八月十五日の岐阜県白川村での返還式で遺族に直接思いを伝えたいと述べた。会見の最後には、今回OBONソサエティが持参した遺品は五十七件となった。



日章旗を受け取る甥の高野さん(右から二番目) = 8月10日、いわき市田人支所で(写真提供:いわき民報社)

すよう託されたため、OBONソサエティに依頼していた。八月十日、いわき市田人支所で返還式が行われ、家族や近隣住民が正二氏の武運を祈り寄せ書きした日章旗が、学さんに引き渡された。学さんは「お盆の前に、姿を覚えて故郷に帰ることができ、おじはもういなくなり、亡き父も喜んでいと思う」と語った。

等はこのとおり。

▼申込締切 九月二十一日(金)

▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼参加費用 30万円前後

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼申込締切 九月二十一日(金)

▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼参加費用 30万円前後

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼申込締切 九月二十一日(金)

▼申込方法 申込は在住する各都道府県遺族会の事務局へ。

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼参加費用 30万円前後

▼参加人数が募集人数を大幅に下回った場合は、中止となるので、予めご了承ください。

▼申込締切 九月二十一日(金)

戦跡巡拝・慰霊の旅 JTBコーポレートセールスに ご相談下さい。

海外参観・思い出の会・追悼集会などの企画を
お手伝い致します。

お一人様から団体旅行まで、皆様の旅をアレンジ致します。

【過去の取扱方面】

- ◆フィリピン
- ◆中国・旧満州
- ◆トラック・パラオ諸島
- ◆ミャンマー
- ◆バブアニューギニア
- ◆ソロモン諸島
- ◆旧ソ連 他



詳しくはお電話ください。
株式会社 JTB コーポレートセールス
霞が関第四事業部

〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5
霞が関ビルディング 23階

TEL: 03(6737)9324

FAX: 03(6737)9328

営業時間: 月～金曜/9:30～17:30

(土・日曜・祝日・振替及び12/30～1/3休業)

担当: 川邊 安行(かわなべ やすゆき)